

授業科目名	生涯スポーツ概論	担当教員名	関根 正美
必修/選択	選択	開講学年・学期	2年 後期（※令和4年度は開講しません）
科目区分	児童体育に関する科目	単位数	1単位（4時間）
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の概要及び全体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの起源を説明し、発展の歴史を 探る ・スポーツの発展について、日本の特徴を 探る ・現在と将来の社会的背景とスポーツ環境 を把握する ・これまでのスポーツの考え方、生涯スポー ツの対象と課題及びこれからの指導理念 を明らかにし、スポーツの文化化について 説明する。 ・文化現象としてのスポーツを説明し、スポー ツを文化としてとらえることの重要性を 説く。 ・理想のスポーツ指導者像やスポーツ指導者はなぜ 有資格者であるべきなのかを議論させるとともに、公 認スポーツ指導者について理解させる。 		
到達目標	<p>I－1「スポーツとは何か」についての定義づけを明確にし、スポーツ発展の経緯と現代スポーツの考え方（社会環境の変化とスポーツを取り巻く環境）について理解を深める。現代スポーツの考え方を明らかにし、スポー ツを文化として捉えることの重要性について理 解を深め、スポーツ技術・戦術以外のスポー ツの文化的内容であるスポーツ観及びスポー ツ規範（ルール、マナー、エチケット、ドーピング防止等）の重要性について学習する。</p> <p>II－1スポーツ指導者は、スポーツ技術指導の専門 家としてはもちろんであるが、社会の中でスポー ツが果たす役割についても学ぶ必要がある。現 代社会において、スポーツの魅力を多くの方に 伝え、良き理解者を増やすためにも、指導者自 身がスポーツと社会との関わりについて理解し、スポーツの社会的価値を高めていかなければ ならないことを理解する。</p> <p>III－1 スポーツ指導者として求められる理想像について理解 を深め、スポーツ指導者の役割とは、どうい うことであるの かを学習する。スポーツの意義と価値について理解を深め、国民ス ポーツ推進のために中心となる公認スポーツ指導者の役割 について学習する。</p>		
テキスト	公益財団法人 日本スポーツ協会 リファレンスブック 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目 I および II		
参考書・参考資料等	随時プリントを配布		
成績評価の方法	期末テスト70% 平常点30%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	スポーツとは（スポーツの歴史的発展と現代スポーツの考え方）	I－1	
第2回	スポーツとは（スポーツを取り巻く環境）	I－1	
第3回	文化としてのスポーツ（スポーツの文化性、文化的内容、スポーツ観）	I－1	
第4回	文化としてのスポーツ（スポーツ規範、ボランティア）	I－1	
第5回	社会の中のスポーツ	II－1	
第6回	我が国のスポーツプロモーション	II－1	
第7回	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	III－1	
第8回	総合型地域スポーツクラブの必要性と社会的意義 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」	III－1	
定期試験	筆記試験		